

令和7年

第4回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和7年第4回教育委員会会議 議事録

- 1 期 日 令和7年4月10日 木曜日
- 2 場 所 教育委員室
- 3 開 会 午後2時
- 4 閉 会 午後3時
- 5 出 席 者 教育長 安田 浩幸
委 員 奥 真由美
吉村 昌之
松塚 智宏
大塚 美穂子
高橋 重剛

- 6 説明のための出席者
教育次長 小林 栄幸 教育次長 久慈 隆正
課長待遇 高島 知行 総務課長 高橋 公康
義務教育課長 伊藤 悟 高校教育課長 古屋 桃香

- 7 会議に付した事項
議案第16号 県費負担教職員の定数を定める規則の一部を改正する規則案について
議案第17号 令和7年度秋田県教科用図書選定審議会委員の任命について

- 8 可決した事項
議案第16号 県費負担教職員の定数を定める規則の一部を改正する規則案について
議案第17号 令和7年度秋田県教科用図書選定審議会委員の任命について

- 9 報告事項
(1) 令和7年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験の結果について
(2) 令和8年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験実施要項について
(3) 令和8年度秋田県立中学校入学者選抜適性検査問題等作成方針について
(4) 令和8年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査問題作成方針について
(5) 令和7年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査の抽出調査結果について

10 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和7年第4回教育委員会会議を開催いたします。

議事に先立ちまして、4月1日より教育長職務代理者に奥委員を指名したことをお知らせいたします。

これに伴い、議席番号を変更いたします。

新たな議席番号は、1番奥委員、2番吉村委員、3番松塚委員、4番大塚委員、5番高橋委員としますので、よろしく願いいたします。

本日の議事録署名員は1番奥委員と4番大塚委員をお願いいたします。

【安田教育長】

はじめに、議案第16号「県費負担教職員の定数を定める規則の一部を改正する規則案について」、義務教育課長から説明をお願いします。

【義務教育課長】

議案第16号「県費負担教職員の定数を定める規則の一部を改正する規則案について」説明概要

- ・市町村立小学校、中学校及び義務教育学校の教職員配置基準と少人数学習推進事業配置基準に基づく定数配置により、令和7年度の市町村別の学校種ごとの定数を定める必要があるため、県費負担教職員の定数を定める規則の一部を改正するものである。
- ・改正後の県費負担教職員の定数を定める規則は、公布の日から施行する。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【吉村委員】

教職員の定数について、昨年度と比べてどのくらい減ったのでしょうか。

【義務教育課長】

総計では小学校が100名、中学校が78名の減となっております。

【吉村委員】

現状の配置について、教職員の数は足りているのでしょうか。

【義務教育課長】

4月1日時点で3名の未配置となっております。今後病休や産休など、欠員が生じた場合に待機している講師がなかなかいない状況もあり、配置が遅れることが想定されております。

【吉村委員】

現状がよくわかりました。先生方の負担が増えておりますので、配置については引き続き努力していただきたいと思っております。

【安田教育長】

他になれば、表決を採ってよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

では、表決を採ります。

議案第16号を原案どおり可決することよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

それでは、議案第16号を原案どおり可決します。

次に、議案第17号「令和7年度秋田県教科用図書選定審議会委員の任命について」、義務教育課長から説明をお願いします。

【義務教育課長】

議案第17号「令和7年度秋田県教科用図書選定審議会委員の任命について」説明概要

- ・義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等の規定により、学校長等、教育委員会関係者、学識経験者等で構成する20名を秋田県教科用図書選定審議会の委員として県教育委員会が任命することとされている。これらの規定に基づき、資料に掲載している者を委員として任命しようとするものである。
- ・委員の選定に当たっては、「学校長等」は、公立の小・中学校と特別支援学校の校長及び教頭から8名、「教育委員会関係者」は、市町村の教育長や学校教育課長等及び県教委の教育事務所長から7名を選出する。「学校長等」と「教育委員会関係者」の委員については、地域や専門教科のバランスを考慮して選出している。「学識経験者等」は、大学教員や保護者等から5名選出している。
- ・今年度の審議会では、令和8年度に使用する「特別支援学校小・中学部及び小・中学校特別支援学級用の教科用図書（一般図書）」についての調査研究等を審議する。
- ・名簿に記載されている20名については、教科書発行者との不適切な関係がないことを確認済みである。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【奥委員】

審議会は年に何回行われているのでしょうか。また、審議会を開く際は全員が出席し、委員それぞれに専門的な意見を述べていただくといった流れになるのでしょうか。

【義務教育課長】

審議会は年に2回実施を予定しており、今年度は4月30日と6月4日に予定しております。また、委員の皆様には直接参集していただき、専門的な意見はもちろん、それぞれのキャリア等の知見を含めてお話をさせていただいております。

【安田教育長】

他になれば、表決を採ってよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

では、表決を採ります。

議案第17号を原案どおり可決することよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

それでは、議案第17号を原案どおり可決します。

次に、報告事項「令和7年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験の結果について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項（１）「令和７年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験の結果について」説明概要

- ・令和７年度の採用者は、全校種で２２４名である。
- ・前年度までの選考試験で合格し採用延期となっている者は７名で、その内訳は、小学校で３名、中学校で１名、特別支援学校で３名となっている。今回の試験での合格者が２３３名で、前年度までの採用延期者を足すと２４０名である。そこから令和７年度辞退者・採用延期者の１６名を除くと、令和７年度の採用者は２２４名となる。
- ・辞退者・採用延期者の１６名の内訳は、辞退者が７名、採用延期者が９名である。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【松塚委員】

採用者数について教えていただきましたが、３月の退職者数についてもあわせて教えてください。

【安田教育長】

お調べして、後ほどご報告させていただきます。

【松塚委員】

定年退職だけでなく途中退職の人数が気になっており、その人数を補えるように採用人数を決めているのか教えてください。

【安田教育長】

基本的には定年退職される方々の人数をそのまま採用人数としております。

【松塚委員】

若い方の離職率が年々増加しているように思うのですが、そういった傾向はありますか。

【義務教育課長】

退職される方が多くなる分、若い方を採用する人数も多くなってきております。若い方が離職する理由としては、結婚や転職のために他県に移ることが多いようです。

【高島課長待遇】

先程の３月退職者数についてですが、全体で４８０名であり、その内の定年退職者数は２４１名でした。

【吉村委員】

目標としていた採用者人数を教えてください。また、辞退された７名の方々の辞退理由が分かれば教えてください。

【高校教育課長】

先に辞退理由について申し上げます。他県でも採用となり、秋田県での採用は辞退したいという旨や自己都合による理由がありました。

採用試験の募集人員は小学校が１１０名、中学校が６４名、高等学校が２６名、特別支援学校が２５名、養護教諭が１１名であり、いずれも概ね募集人員を確保できている状況です。

【安田教育長】

他になければ、次に、2つ目の「令和8年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験実施要項について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項(2)「令和8年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験実施要項について」
説明概要

- ・受付期間は4月11日から5月9日までである。
- ・第一次選考試験は7月12日、第二次選考試験は8月30日から9月1日に実施する。
- ・採用予定人数は、小学校教諭等が80名程度、中学校教諭等が75名程度、高等学校教諭等が30名程度、特別支援学校教諭等が25名程度、養護教諭が8名程度で、合わせて218名程度の採用を予定している。
- ・高等学校と特別支援学校高等部の実習助手も若干名採用する。
- ・特別選考については、昨年度に引き続き、障害者特別選考、教職大学院特別選考、大学推薦特別選考、言語聴覚士有資格者特別選考、社会人等特別選考を実施し、新たに大学3年生チャレンジ選考を実施する。
- ・今年度新たに社会人特別選考において、高等学校教諭等として保健体育の採用を行う。
- ・受験の優遇措置については、昨年度に引き続き、教職経験者優遇を実施するほか、加点による優遇措置として、今年度新たに特別支援学校教諭等において小中高3校種全ての普通免許状を取得または取得見込みである場合も加点対象とする。
- ・試験場については、第一次選考に限り今年度新たに東京会場を設置する。
- ・試験内容について、第一次選考で行っていた集団面接を廃止し、筆頭試験のみとする。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【松塚委員】

秋田の未来を担う子どもたちを育てる教員の確保が重要であると思いますので、応募者本人だけでなく、その家族にも響くようなメディアを通じた積極的なPRが必要であると思います。

【高校教育課長】

私どもの方でも何かできればと思っておりますので、引き続き検討していきたいと思っております。

【大塚委員】

大学3年生チャレンジ選考は秋田県以外でどのくらい実施しているかわかれば教えてください。

【高校教育課長】

全国的には3割の実績があり、66ある自治体の半分以上が実施しております。

【奥委員】

今年度から試験内容が大きく変わる年になると思いますが、選考するにあたってこれまでと違った視点から審査することはありますか。

【高校教育課員】

二次選考の在り方については昨年度から見直しを図っており、集団面接を廃止して個人面接にし、模擬授業を含め個人の資質をしっかりと見るようにしております。

【安田教育長】

他になければ、次に、3つ目の「令和8年度秋田県立中学校入学者選抜適性検査問題等作成方針について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項(3)「令和8年度秋田県立中学校入学者選抜適性検査問題等作成方針について」説明概要

- ・1には「基本方針」、2には「配慮事項」について記載している。昨年度と同様の内容となっており、変更点はない。
- ・今年度も昨年度と同様に児童に身に付いている資質・能力をきちんと見とることのできる適性検査問題にしたいと考えている。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【吉村委員】

昨年度の作文のテーマを教えてください。

【高校教育課長】

県立中学校3校それぞれでテーマを設定しております。6年間の学びで何を学びたいか、自分のクラスに海外の中学生が来たとき、地域の文化などを紹介するとしたら何を取り上げるか、グラフから読み取れることは何か、などがテーマとしてあり、それぞれの学校の特色がでているものとなっております。

【奥委員】

面接や作文、適性検査とバランスを持って高校受験とは違う視点で選抜されていると思いますが、秋田南高校中等部では志願倍率が高く塾に通って対策しており、大館国際情報学院中学校と横手清陵学院中学校では定員割れしている状況が見られます。中学校をひとつくりにするよりそれぞれの課題があると思いますが、特に定員割れしている状況に対し、対策や課題があれば教えてください。

【高校教育課長】

中学校の入試はあくまで学力検査ではなく適性検査という形で、成績に順位をつけるというものではありません。それぞれの学校の状況に応じ、どんな生徒が入ってきて欲しいかを考えるにあたって、作文の出題内容を各学校で考えていただいております。

【安田教育長】

奥委員、対策とはどのような意味合いでしょうか。

【奥委員】

保護者の方から合格するためにどういった対策が必要か聞かれることが多いです。高校入試のような学力検査とは違うということは皆さんわかっていますが、特に秋田南高校中等部で倍率が2倍を超えたりすると、どうしたらいいか相談を受けます。学校基準で合否を決めていくというスタンスでよろしいでしょうか。

【安田教育長】

対策というよりも、小学校6年間でしっかり学んだ上で色々な応用力をつけていけば問題はないと思われますので、決して塾に行かなければならない訳ではありません。

【安田教育長】

他になければ、次に、4つ目の「令和8年度秋田県立中学校入学者選抜適性検査問題等作成方針について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項(4)「令和8年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査問題等作成方針について」説明概要

- ・1には「基本方針」、2には「実施教科、検査時間及び出題内容」、3には「各教科の配慮事項」について記載している。昨年度と同様の内容となっており、変更点はない。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【吉村委員】

秋田県の課題として「『問い』を発する子どもの育成」があります。これに加えて郷土愛を育てていくことも大事になってくると思いますが、そういったものは試験内容の中に織り込まれているのでしょうか。

【高校教育課長】

県としての大きな教育指針もありますので、そういったものを踏まえながらの作問になります。実際に昨年度の入試でも、県の条例などを題材にした問題や秋田を題材にした社会の問題も出題されています。

【吉村委員】

どういう子どもたちに育ってもらいたいのか、というのは試験内容にも現れるべきだと思います。そういう部分をもう少し強く出していただいてもいいのではないかと個人的に思います。

【安田教育長】

他になければ、次に、5つ目の「令和7年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査の抽出調査結果について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項(5)「令和7年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査の抽出調査結果について」説明概要

- ・本調査は、1次募集における全日制の課程の受検者5,794人のうちの約8%に当たる463人を対象に行った。
- ・5教科の合計点は274.2点で、前年度に比べ3.4点下がった。また、100点換算では、54.8点で、前年度に比べ0.7点下がった。
- ・国語については、平均点は66.3点で、前年度に比べ1.5点下がった。本文の内容を的確に読み取り、自分の言葉で適切に表現できたかが得点の差になった。言葉の特徴や使い方に関する事項については概ねできているが、漢字の書き取りや品詞の識別、読み取った内容から自分の考えを深めたり与えられた条件に応じて再構築し適切に記述したりすることに課題が見られる。
- ・社会については、平均点は53.7点で、前年度に比べ5.6点下がった。基礎的・基本的な知識及び技能の習得については一定の成果が見られたが、資料から必要な情報を的確に読み取り、社会的な見方・考え方を働かせて解釈し、適切に表現することに課題が見られる。
- ・数学については、平均点は47.6点で、前年度に比べ1.1点下がった。数と式の領域における数学的な技能について学習の成果が見られた。一方で基本的な図形の見方、考え方に関する問題や、数学的な思考力、判断力、表現力を発揮して解決する問題に課題が見られる。
- ・理科については、平均点は56.8点で、前年度に比べ4.9点上がった。基礎的基本的な知識

及び技能の確実な習得を図られるとともに、変わっていく探求する活動を重視した授業づくりが行われている成果がある一方で、理科の学習データ知識及び技能を活用して判断する問題や観察実験の結果を分析して解釈し、表現する問題について課題が見られる。

- ・英語については、平均点は49.8点で、前年度に比べ0.1点下がった。自分の立場を明らかにして意見を述べる英作文について、論理的に表現する言語活動の充実による成果が見られた一方で、聞き取った情報を整理して要点を把握する問題や、基本的な表現を活用して英文を構成する問題において課題が見られる。
- ・これらの抽出調査の結果については、各高校において、入学者の今後の指導に生かせるように3月末に速報値を送付している。また、5月中には、全県の中学校・高等学校に分析資料の冊子を配付し、生徒の学習指導や授業改善に役立ててもらおう予定である。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【大塚委員】

中学校からの申し送り等によって別室受験が必要であったり、問題を読んでもらったりと特別な配慮をしていただく受験生がいると思いますが、配慮について許可を出すのはそれぞれの高校の判断なのでしょうか。

【久慈次長】

中学校の校長先生から出願前に問い合わせがあり、高校の方で了承を得ているという形になります。

【高橋委員】

息子が通っている学童に、そこに通いたいがために東京から来られた方がいました。たまたま中学校へ行き授業のように仕事の話をするのですが、その内容を全国の先生にみていただいたところ、子どもたちがすごく生き生きとしていると言われました。私はこれが普通と思っていましたが、意外とそうではないのかもしれないと最近思い始めました。教育は良くも悪くも聖域なので、「子どものためなら」という親の思いは非常に強いです。そこをテコにして人口減少なども考えてもいいのではないかと思います。

数字の話もありましたが、それはそれとして、もっと大所高所の視点から俯瞰して壮大なこと、意見として述べさせていただきます。

【安田教育長】

小学校から高校までつなげて分析しておりますので、それが本県の強みであると思っております。

予定された案件は以上ですが、他にございませんか。特になければ、以上で本日の会議を閉じます。お疲れさまでした。